



「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

ウクレレの音色にのせて つながる、広がる、みんなの笑顔

「2018みやぎふるさとCM大賞」で、多賀城音頭を奏でる心地よいウクレレの音に合わせて、満面の笑みと軽快な足どりで迫ってくる、あの人たちは...いったい？

それは、多賀城にまつわるゲストのお話を聞く会「アサモンカフェ」(月2回、朝に開催)での出会いがキッカケとなって誕生した、音楽隊「コトリズム」。

楽器ができる人もできない人も音楽を楽しもう!と、いつの間にか楽しい仲間が集まりました。「好き」を活かす楽しさが伝わって、多賀城暮らしを楽しむ人たちが増えていくといいなあ、そんなことをちょっぴり思いながら活動中。



隊員募集中!



真剣な中にも、笑い声が聞こえてきそうな練習風景。楽しそうですね。



「ふるさとCM大賞」作品撮影日に、「コトリズム」ポーズで、はい!笑顔。

何かしてみたいな、でも人とつながることにハードルを感じる。そんな人たちに...

「コトリズム」からメッセージ

自分が楽しもうとする気持ちを大切に、気軽に一歩踏み出してみよう! その一歩が難しい人は、世間話でもしながらやりたいこと、好きなことを話してみよう! どこかで誰かがその言葉を拾ってくれて、気づけば何か見つかっているはずですよ。

「2018みやぎふるさとCM大賞」多賀城市の作品についてはこちらをご覧ください!

多賀城 ふるさとCM 2018

検索

Hint from *Tagasapo Press*

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

2019年2月12日(火)掲載 /

デザイン・発想の宝庫
フリーペーパー

2019年2月14日(木)掲載 /

猫と犬の幸せを考える

2019年2月21日(木)掲載 /

イベント主催者必見!
ろう×LGBTQサポートブック

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ!
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



「tag」のアンケートへご協力をお願いします!



今後の誌面づくりの参考にしたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いします!

また、以下のような情報もお待ちしています!

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

たがさぼフリースペース 利用団体募集!

たがさぼのフリースペースは、少人数での打ち合わせのほか、イベントや展示の会場としても使えます。展示やイベントを通して活動について知ってもらったり、新たなつながりをつくりましょう! たがさぼスタッフが随時相談にのりますので、ぜひご利用ください。

対象

利用できる内容

市民活動団体、町内会、生涯学習団体・サークルなど

誰でも出入り・参加・見学のいずれかができる
公開の講座・イベント、展示会など

※運動・音楽イベントや営利目的での利用はできません。

利用希望日の6ヵ月前から受け付けます

022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

申込み

問合せ



詳しくは、
たがさぼホームページか、
「tag」vol.57をご覧ください。





「支え合い」につながる「お宝」。 新たな視点から発掘・活用を!

昨年度開催された「地域の支え合い実践塾」(主催:実行委員会)では、日頃の生活の中の「お宝」(自然な支え合い活動)が発掘されました。今年度も継続されたこの取り組み、さて、新たにどんな「お宝」が見つかったでしょうか。

1 まだまだ発掘される、地域の「お宝」

「地域の支え合い実践塾」では、身近で行われている何気ない活動が「支え合い」につながるという考えのもと、市役所職員、生活支援コーディネーターや町内会の役員などが集まり、地域の「お宝」をいかに見つけ、広めるかを考えました。昨年度は高齢の方向けの「お宝」が多かったのですが、参加した方から「これからを担う若い人や、さまざまな分野で活動する人たちにも知ってもらいたい」という声も出ました。これを受け、今年度は障がい者支援や子育てに関する活動に取り組む市民や市役所職員も参加しました。

昨年10月と11月に開催した「地域の支え合い」講座では、地区ごとに身近で行われている活動を出しあいました。子どもの登校時間に住民の見守り活動をしているご夫婦、相撲観戦を通じた交流会、お茶飲みをしつつ若い世代に生活の知恵を伝えるおばあちゃん...など、多くの「お宝」が出てきました。それぞれの活動の持つ意味は、「住民同士の交流」「認知症予防」「介護予防」などさまざまです。



発表会の一コマ。「お宝」と呼ばれる活動をしている方が、講師からインタビューを受けています。

2 新たに気づいた、 市民活動団体の持つ「お宝」

また、市民活動団体の活動も「お宝」としてあがりました。安心して保護者が地域で子育てができるよう学びを広める活動や、「多様性を生きる人」が生きやすさを見つけていく活動、子どもの居場所づくりの取り組みなどです。

市民活動団体の活動は専門性が高く、ネットワークや課題解決のためのアイデアや方法を多く持っている、という特徴があります。今回これらの取り組みをはじめて知った方も多く、「参考になった」「もっと知りたい」「自分の住む地域で活かせるかも」などの声が出てきました。自分たちだけでは解決が難しい課題にも手が届く、新たな「お宝」が見つかった瞬間でした。

3 活用して、より輝きを増していく「お宝」

2月に開催された発表会ではたくさん出てきた「お宝」の中から、いろんな世代・立場の人が地域づくりへの関わりを実感できる6つの事例が発表されました。その内容も、隣近所やお店の方など地域住民のみなさんがヘルパー役を担っているもの、市民活動団体の特徴を活かしたものなど、対象・分野は多岐に及びました。

みなさんも身のまわりにまだまだ眠っている「お宝」を発掘して、活用していきましょう。そうすることで、地域の「支え合い」がより深まるとともに広がりが出てきて、誰もが安心して暮らせる大好きな多賀城になっていきます。



▲講座の様子。少人数のグループに分かれ、それぞれの取り組みを出しあいます。みなさんの地区にも、「支え合い」につながる「お宝」はありますか?

やっていること(活動内容) B) こんな効果があります!

- 防犯・交通安全
- コミュニケーション
- 世代間交流
- 地域清掃
- 健康増進
- ボランティア精神
- 街の変化を発信
- お互い様
- ◎ 生きがい

▲講座で発掘された地域の「お宝」。書き出して、みんなで見ることでさらに新たな「お宝」が見つかります。

「支え合い」については、
「tag」vol.62もご覧ください!



What's ? //



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぼのツイッターへのフォローをお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>

2018年4月にリニューアル!
「たがさぼ」のホームページはこちら